

HEX Consolidation Utility

ルネサス エレクトロニクス書き込み済みフラッシュ製
品用 ROM コード生成ユーティリティ

ユーザーズマニュアル

本資料の8ページに追記がございます。

本資料に記載の全ての情報は本資料発行時点のものであり、ルネサス エレクトロニクスは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。
ルネサス エレクトロニクスのホームページなどにより公開される最新情報をご確認ください。

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

このマニュアルの使い方

対象者 このマニュアルは、ルネサス エレクトロニクス製のマイクロコントローラ製品で実施している書き込み済み品（フラッシュ・メモリ品）を発注するお客様を対象者とします。

目的 このマニュアルは、次の構成に示すHEX Consolidation Utilityの機能をユーザに理解していただくことを目的としています。

構成 このマニュアルは、大きく分けて次の内容で構成しています。

- ・ 概要
- ・ インストール
- ・ 使用方法
- ・ メッセージ

読み方 このマニュアルは、一部に電気、論理回路、マイクロコントローラに関する一般知識が必要となります。また、アプリケーションの操作については、Windowsに関する知識が十分にあるものとして書かれています。Windowsに関する使用方法、および固有の用語に関しては各Windowsのマニュアルを参照してください。

HEX Consolidation Utilityの操作を一通り理解しようとするとき
→目次に従って読んでください。

マイクロコントローラのハードウェア機能を知りたいとき
→各製品のユーザーズ・マニュアルを参照してください。

78K、V850の書き込み済み品（フラッシュ・メモリ品）の発注方法に関して知りたいとき
→ROMコードの発注方法 インフォメーション（C10302J）を参照してください。

RL78の書き込み済み品（フラッシュ・メモリ品）の発注方法に関して知りたいとき
→RL78ファミリ ROMコードの発注方法（R01ZZ0058J）を参照してください。

- 凡 例**
- 注 : 本文中につけた注の説明
- 注意 : 気をつけて読んでいただきたい内容
- 備考 : 本文の補足説明
- 数の表記 : 2進数 ... xxxxまたはxxxxB
10進数 ... xxxx
16進数 ... 0XXXXXまたはxxxxH
- “ ” : 任意の文字、画面内の項目を示します。
- : ボタンの名称を示します。
- [] : ダイアログ、エリアを示します。

用語 このマニュアルで使用する用語について、その意味を下表に示します。

用語	意味
HCU	ルネサス エレクトロニクス書き込み済みフラッシュ製品用ROMコード生成ユーティリティ HEX Consolidation Utilityの略称
FP5	フラッシュ・メモリ・プログラマ PG-FP5の略称
E1/E20	E1エミュレータ/E20エミュレータの略称
MINICUBE2	プログラミング機能付きオンチップ・デバッグ・エミュレータQB-MINI2の愛称
RFP	フラッシュ書き込みソフト Renesas Flash Programmerの略称
PR5ファイル	PG-FP5用パラメータ・ファイルの略称 パラメータ・ファイルはターゲット・マイクロコントローラのフラッシュ・メモリの書き込みを行うために必要なパラメータ情報を持つファイルです。拡張子 *.pr5 のファイルです。ファイル内のデータは変更を行わないでください。ファイルが変更された場合、HCUの動作保証ができません。
ESFファイル	PG-FP5用設定ファイルの略称 設定ファイルは書き込みするために必要な情報が格納されています。FP5では、ターゲット・デバイス、動作オプション等の書き込み環境に関する設定を格納します。拡張子 *.esf のファイルです。ファイル内のデータは変更を行わないでください。ファイルが変更された場合、HCUの動作保証ができません。
オプション・データ	セキュリティ設定（チップ消去禁止、ブロック消去禁止、書き込み禁止、読み出し禁止、ブート領域の書き換え禁止）、書き換え保護設定（フラッシュ・シールド・ウィンドウ機能のブロック設定、ブート領域終了ブロック設定）、リセット・ベクタ・ハンドリング機能設定、オプション・バイト設定、オンチップ・デバッグ・セキュリティID設定、ワイド・ボルテージ・モード、フルスピード・モードの総称 マイコンによって利用可能な機能は異なります。
HEXファイル	オプション・データなしのインテル・ヘキサ・フォーマット・タイプまたはモトローラ・ヘキサ・フォーマット・タイプのファイル 次のファイルフォーマットに対応します。 ・INTEL HEXフォーマット ・INTEL HEX-32フォーマット ・モトローラSタイプ・ヘキサ・フォーマット
HCUHEXファイル	HEXファイルとオプション・データをHCUで統合したファイル HEXファイルがINTEL HEXフォーマット、またはINTEL HEX-32フォーマットの場合、INTEL HEX-32フォーマットで生成されます。 HEXファイルがモトローラSタイプ・ヘキサ・フォーマットの場合、モトローラSタイプ・ヘキサ・フォーマット（データ・レコードS3、エンド・レコードS7）で生成されます。
マイコン	マイクロコントローラの略称

関連資料 関連資料は暫定版の場合がありますが、この資料では「暫定」の表示をしておりません。あらかじめご了承ください。

資料名	資料番号
ROMコードの発注方法 インフォメーション	C10302J
RL78ファミリ ROMコードの発注方法	R01ZZ0058J
PG-FP5 フラッシュ・メモリ・プログラマ ユーザーズ・マニュアル	R20UT0008J

注意 上記関連資料は予告なしに内容を変更することがあります。設計などには必ず最新の資料をご使用ください。

目次

第1章 概 要	7
1.1 特 徴.....	7
1.2 システム構成.....	7
1.3 動作環境.....	8
1.5.1 ハードウェア環境.....	8
1.5.2 ソフトウェア環境.....	8
1.4 サポート・マイコンについて.....	8
第2章 インストール	9
2.1 入手.....	9
2.2 インストール.....	9
2.3 アンインストール.....	10
2.4 HCUの更新について.....	10
2.4.1 バージョンの確認方法.....	10
第3章 使用方法	11
3.1 はじめに.....	11
3.2 HCUの基本フロー.....	11
3.3 モード.....	12
3.4 編集モード.....	12
3.4.1 編集モードの使用例.....	12
3.5 確認モード.....	17
3.5.1 確認モードの使用例.....	17
付録A メッセージ	20
A.1 メッセージ表示形式.....	20
A.2 エラー・ダイアログ.....	21
A.3 インフォメーション・ダイアログ.....	22

第1章 概 要

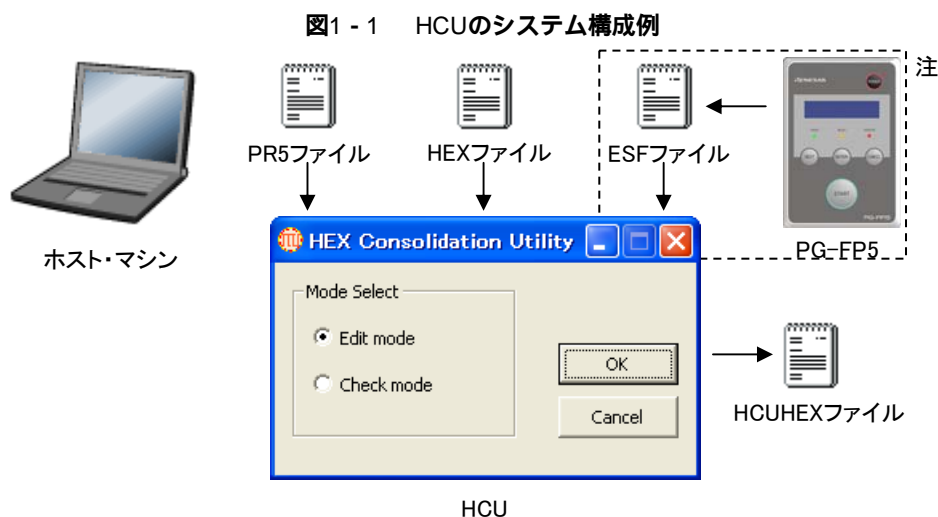
ルネサス エレクトロニクス書き込み済みフラッシュ製品用ROMコード生成ユーティリティ HEX Consolidation Utility (以降、HCU) は、ルネサス エレクトロニクスに書き込み済み品 (フラッシュ・メモリ品) を発注する際、ROMコード作成に必要な機能を搭載したソフトウェア・ツールです。

1.1 特 徴

- ・HEXファイルとオプション・データを統合する機能
- ・オプション・データの設定内容を閲覧、編集する機能

1.2 システム構成

HCUのシステム構成例を下図に示します。



< HCUの操作概要 >

HCUはHCUHEXファイルの生成、およびオプション・データの設定内容を確認することができます。詳細な使用方法は第3章 使用方法 を参照してください。

注: PG-FP5で生成したESFファイルは、オプション・データの設定内容が含まれています。HCUはオプション・データをESFファイルから取り込むことができます。PG-FP5を所持していない場合、HCUはオプション・データを直接入力することができます。

1.3 動作環境

動作環境に関する以下の項目について解説します。

- ・ハードウェア環境
- ・ソフトウェア環境

1.5.1 ハードウェア環境

ホスト・マシン

- ・対象OSのシステム要件を満たしたマシン

1.5.2 ソフトウェア環境

- ・Windows XP (32ビット版のみ)
- ・Windows Vista (32ビット版, 64ビット版)
- ・Windows 7 (32ビット版, 64ビット版)

1.4 サポート・マイコンについて

HCUでサポートしているマイコンについては、当社営業、または販売特約店までご確認ください。

1.5 HEXファイルフォーマット

HCUで読み込めるHEXファイルは正しいHEXファイルフォーマットであることに加え、以下の条件を満たしている必要があります。対応していないファイルフォーマットのHEXファイルを読み込んだ場合はエラーが発生します。

モトローラSタイプ・ヘキサ・フォーマット

- ・S1, S2, S3レコードが混在していない
- ・データ・レコードとエンド・レコードの組み合わせがS1とS9, S2とS8, S3とS7の組み合わせでない

第2章 インストール

この章では、HCUに関する次の項目について解説します。

- ・入手
- ・インストール
- ・アンインストール
- ・HCUの更新について

2.1 入手

HCU, およびPR5ファイルは、以下のWEBサイトから入手してください。

- ・HCUのWEBサイト

日本語版 : <http://japan.renesas.com/hcu>

英語版 : https://www5.renesas.com/micro/tool_reg/OdsListTool.do?code=640&lang=en

- ・PR5ファイルのWEBサイト

日本語版 : http://japan.renesas.com/pg_fp5

英語版 : http://www.renesas.com/pg_fp5

注意 HCUは動作を保証するために最新版の使用を推奨いたします。

2.2 インストール

HCU, PR5ファイル, およびESFファイルのインストール方法について説明します。

表2-1 インストール

項目	方法
HCU	入手したファイル (hcu_gui_vxxx.zip) を任意のフォルダに解凍してください。フォルダ内にHCU.exeが解凍されます。(vxxxはHCUのバージョンです。)
PR5ファイル	入手したファイルを任意のフォルダに解凍してください。フォルダ内に*.pr5が解凍されます。
ESFファイル	FP5を使用することで生成されます。生成方法に関しては、PG-FP5 フラッシュ・メモリ・プログラマ ユーザーズ・マニュアル (R20UT0008J) を参照してください。

2.3 アンインストール

HCU, PR5ファイル, ESFファイルのアンインストール方法について説明します。

表2-2 アンインストール

項 目	方 法
HCU	HCU(HCU.exe)を削除してください。
PR5ファイル	PR5ファイル(*.pr5)を削除してください。
ESFファイル	ESFファイル (*.esf) を削除してください。

2.4 HCUの更新について

HCUの更新により, 以下のことが可能です。

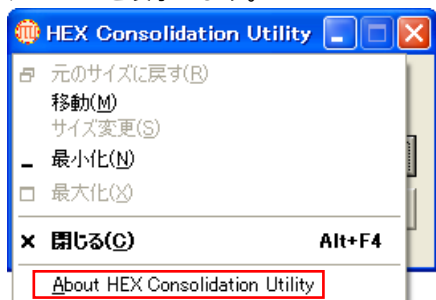
- ・新規機能やサポート・マイクロコントローラの追加
- ・制限事項の修正

HCUの動作を保証するために最新版の使用を推奨いたします。

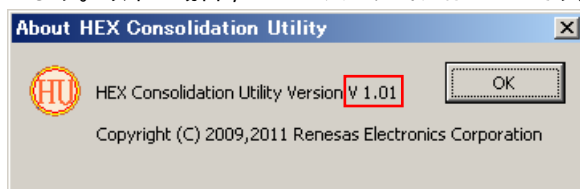
2.4.1 バージョンの確認方法

- (1) HCUを起動してください。
- (2) HCUのバージョンの確認方法は以下のとおりです。

タイトル・バー左上のアイコンを左クリックするか, タイトル・バーを右クリックすると, システム・メニューを表示します。



システム・メニューの [About HEX Consolidation Utility] をクリックすると, 以下のダイアログを表示します。以下の場合, HCUのバージョンはV1.01です。



第3章 使用方法

この章では、HCUが持つダイアログの機能詳細について解説します。

3.1 はじめに

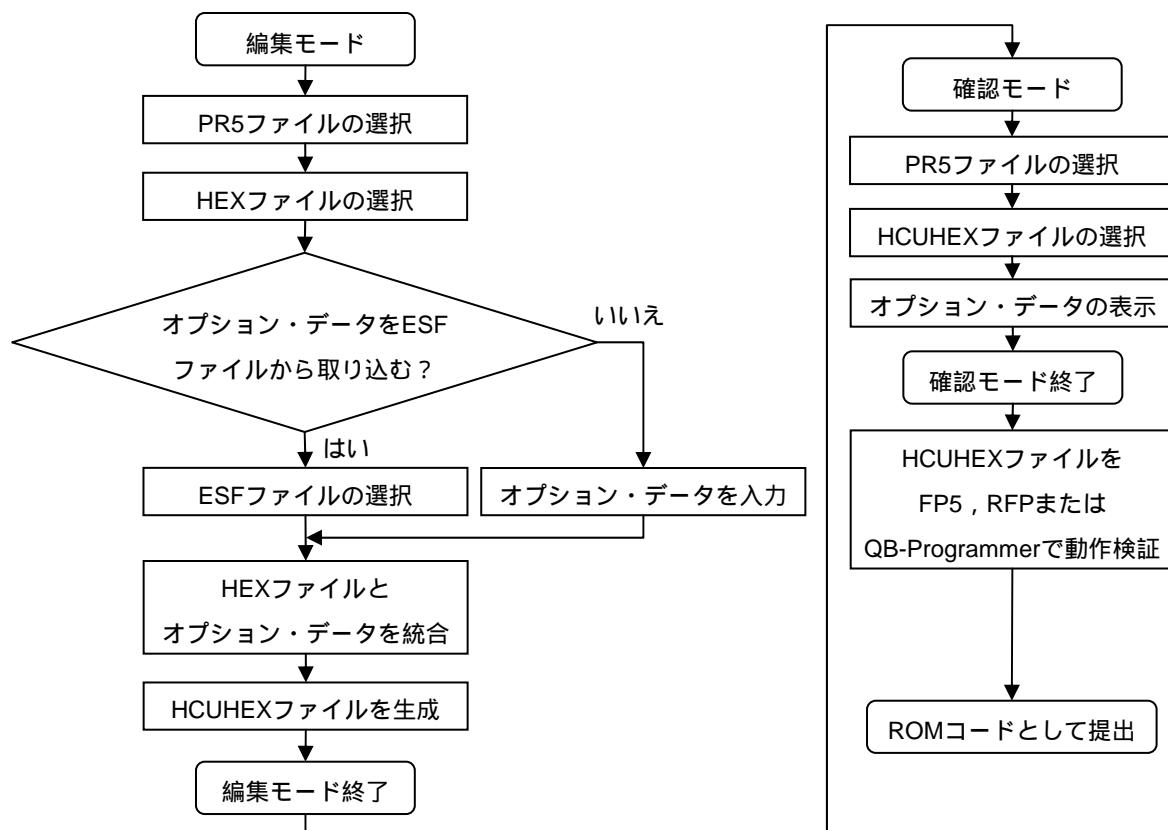
HCU, ターゲット・マイコン用PR5ファイルがインストールされていることを確認してください。インストール方法は第2章 インストールを参照してください。

3.2 HCUの基本フロー

HCU起動後の基本フローを以下に示します。

注意 編集モードでHCUHEXファイル生成後は必ず確認モードで設定したオプション・データが正しいか確認するようにしてください。FP5, RFPまたはQB-ProgrammerでHCUHEXファイルを読み込んで、マイコンの動作検証を行ってから、ROMコードとして提出してください。なお、動作検証とはHCUHEXファイルをマイコンに書き込み、マイコンをHEXファイルでベリファイを行い、データが一致するか確認することです。

図3-1 起動までのダイアログの流れ



3.3 モード

HCUには2つのモードがあります。

- ・編集モード

PR5ファイルとHEXファイルを選択後、オプション・データをESFファイルから取り込むか、オプション・データを直接入力することで、HCUHEXファイルを生成することができます。詳細手順は3.4 編集モードを参照してください。

- ・確認モード

PR5ファイルとHCUHEXファイルを選択後、オプション・データの設定内容を確認することができます。詳細手順は3.5 確認モードを参照してください。

3.4 編集モード

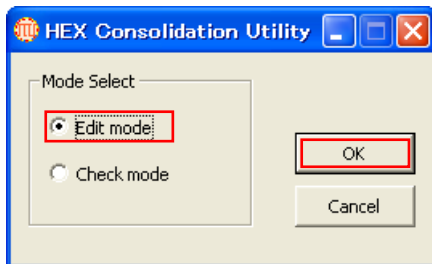
編集モードでは、PR5ファイルとHEXファイルを選択後、オプション・データをESFファイルから取り込むか、オプション・データを直接入力することで、HCUHEXファイルを生成することができます。

注意 編集モードでHCUHEXファイル生成後は必ず確認モードで設定したオプション・データが正しいか確認するようにしてください。

3.4.1 編集モードの使用例

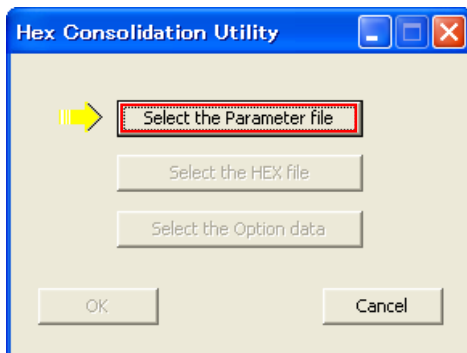
編集モードの使用例を以下に記載します。番号順に操作してください。なお、**Cancel**、または**キャンセル**ボタンを押すと前のダイアログに戻ります。

HCU.exeを実行します。HCUが起動すると、以下のダイアログが開きます。



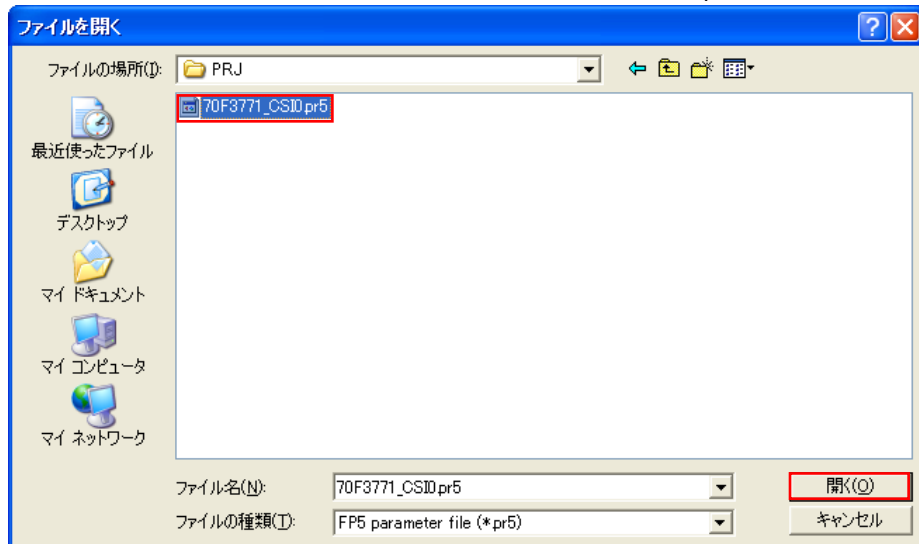
[Mode Select]エリアにある[Edit mode]ラジオ・ボタンを選択して**OK**ボタンを押すと、 のダイアログが開きます。

PR5ファイルを選択するダイアログを開きます。



Select the Parameter fileボタンを押すと、 のダイアログが開きます。

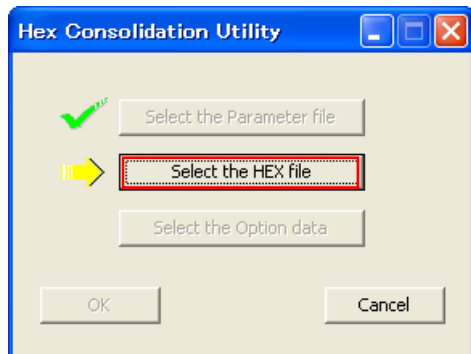
PR5ファイルを選択します。(ここでは例として70F3771_CSI0.pr5を選択しています。)



PR5ファイルを選択して開く(O)ボタンを押すと、のダイアログが開きます。

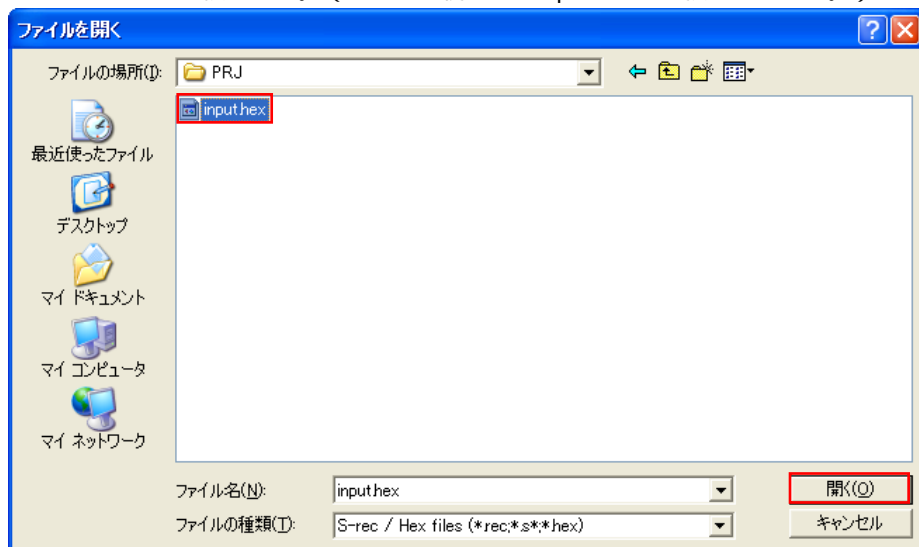
備考 70F3771_CSI0.pr5と70F3771_CSI3.pr5のように1マイコンに複数のPR5ファイルがある場合、どちらも選択可能です。

HEXファイルを選択するダイアログを開きます。



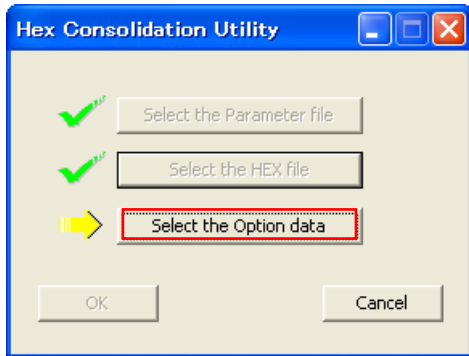
Select the HEX fileボタンを押すと、のダイアログが開きます。

HEXファイルを選択します。(ここでは例としてinput.hexを選択しています。)



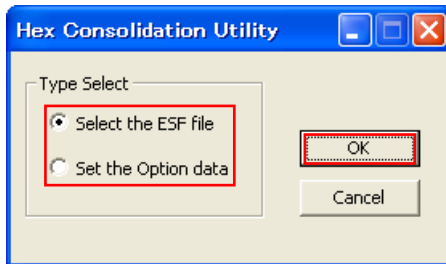
HEXファイルを選択して開く(O)ボタンを押すと、のダイアログが開きます。

オプション・データの入力方法を選択するダイアログを開きます。



Select the Option data ボタンを押すと、 のダイアログが開きます

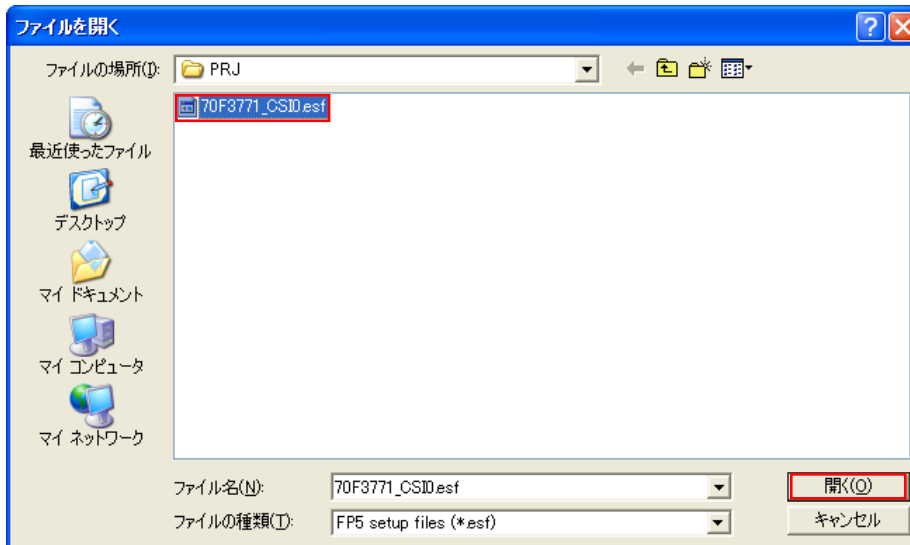
オプション・データの入力方法を選択します。



オプション・データの入力方法にはESFファイルから取り込むか、オプション・データを直接入力の方法の2つがあります。

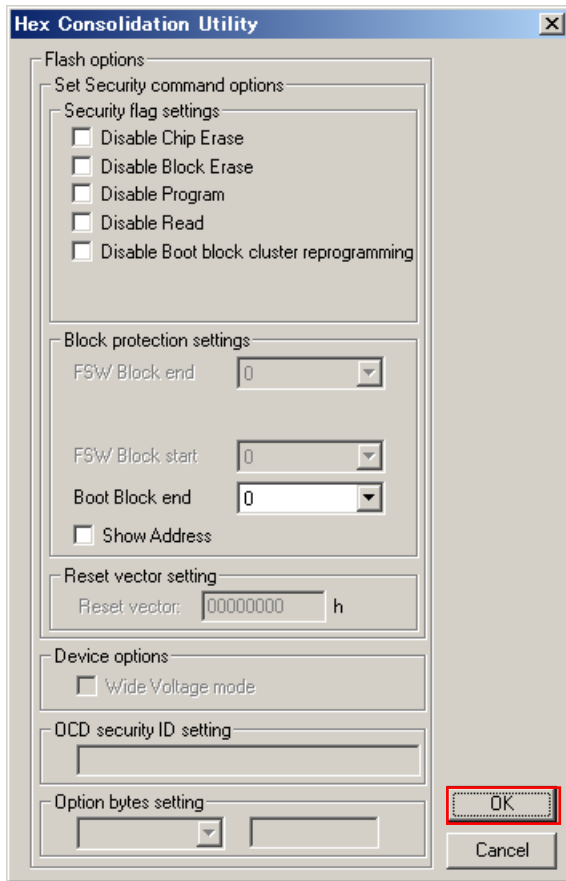
ESFファイルからオプション・データの取り込む場合、[Select the ESF file]ラジオ・ボタンを選択してOKボタンを押すと、 のダイアログが開きます。

ESFファイルを選択します。（ここでは例として70F3771_CSI0.esfを選択しています。）



ESFファイルを選択して開く(O)ボタンを押すと、 のダイアログが開きます。

オプション・データを設定します。



[Set Security command options]エリアでは、セキュリティ設定(チップ消去禁止, ブロック消去禁止, 書き込み禁止, 読み出し禁止, ブート領域の書き換え禁止), 書き換え保護設定(フラッシュ・シールド・ウインドウ機能のブロック設定, ブート領域終了ブロック設定), リセット・ベクタ・ハンドリング機能設定を入力できます。

[Device options]エリアでは、ワイド・ボルテージ・モードの設定を入力できます。

[OCD security ID setting]エリアでは、オンチップ・デバッグ・セキュリティIDの設定の設定を入力できます。

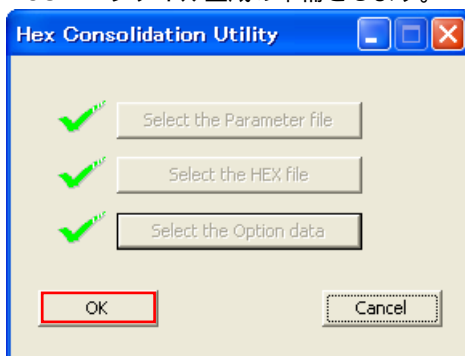
[Option bytes setting]エリアでは、オプション・バイトの設定を入力できます。

機能詳細は、各マイコンのユーザーズ・マニュアルや PG-FP5 フラッシュ・メモリ・プログラマ ユーザーズ・マニュアル (R02UT0008J) を参照してください。

各項目を入力した後OKボタンを押すと、のダイアログが開きます。

- 備考1 設定項目がグレー表示している機能は、対象マイコンが未サポートであるため、設定することができません。
- 2 オプション・バイトやオンチップ・デバッグ・セキュリティIDがフラッシュ・メモリの特定アドレスに配置されているマイコンの場合、[OCD security ID setting]エリアや[Option bytes setting]エリアに設定する必要が無いため、グレー表示します。

HCUHEXファイル生成の準備をします。



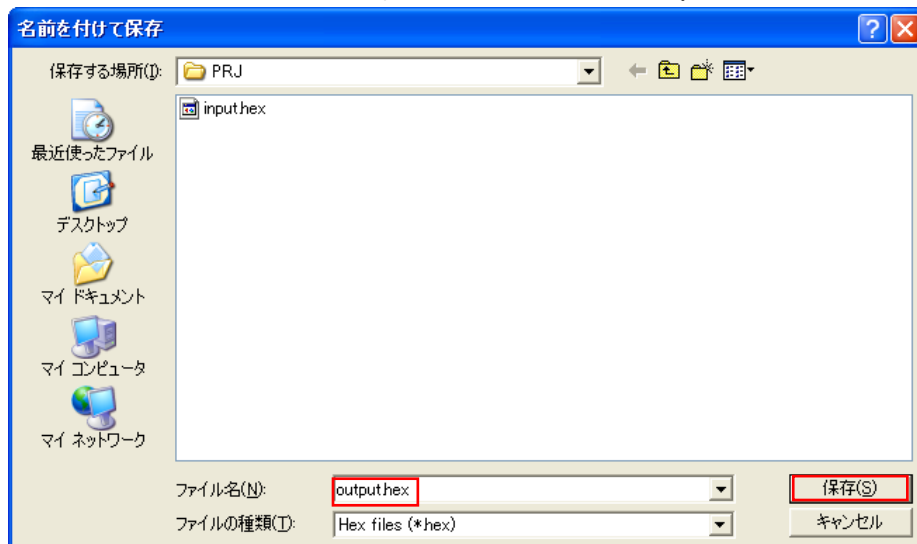
OKボタンを押すと、のダイアログが開きます。

HEXファイルとオプション・データを統合します。



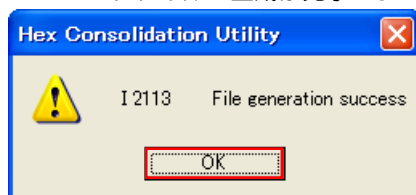
OKボタンを押すと、 のダイアログが開きます。

HCUHEXファイル名を入力すると、ファイルが生成されます。(ここでは例としてoutput.hexを入力しています。)



[ファイル名(N):]ボックスに任意のROMコード名を入力して保存(S)ボタンを押すと、ファイルが生成されます。生成が完了すると のダイアログが開きます。

HCUHEXファイルの生成が完了しました。



OKボタンを押すと、 のダイアログに戻ります。

注意 編集モードでHCUHEXファイル生成後は必ず確認モードで設定したオプション・データが正しいか確認するようにしてください。

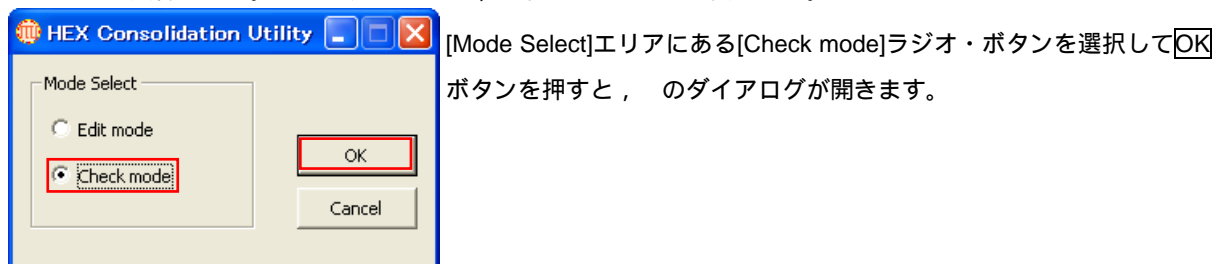
3.5 確認モード

確認モードでは、PR5ファイルとHCUHEXファイルを選択後、オプション・データの設定内容を確認することができます。

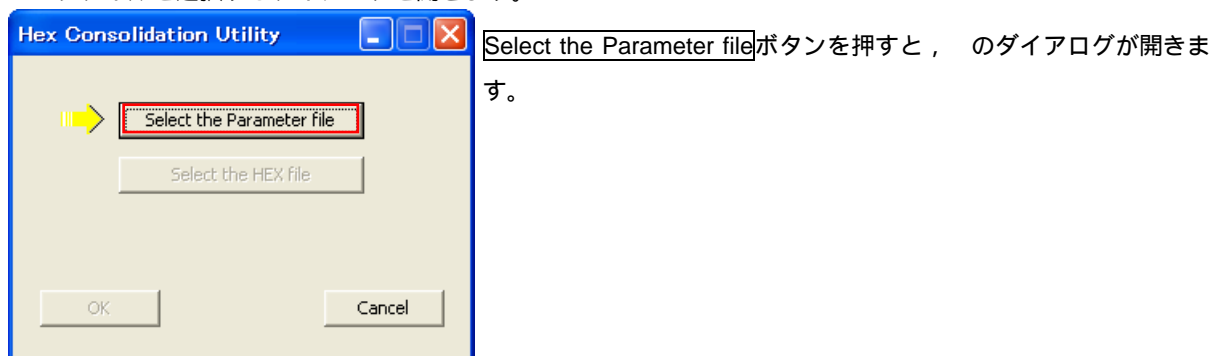
3.5.1 確認モードの使用例

確認モードの使用例を以下に記載します。番号順に操作してください。なお、**Cancel**、または**キャンセル**ボタンを押すと前のダイアログに戻ります。

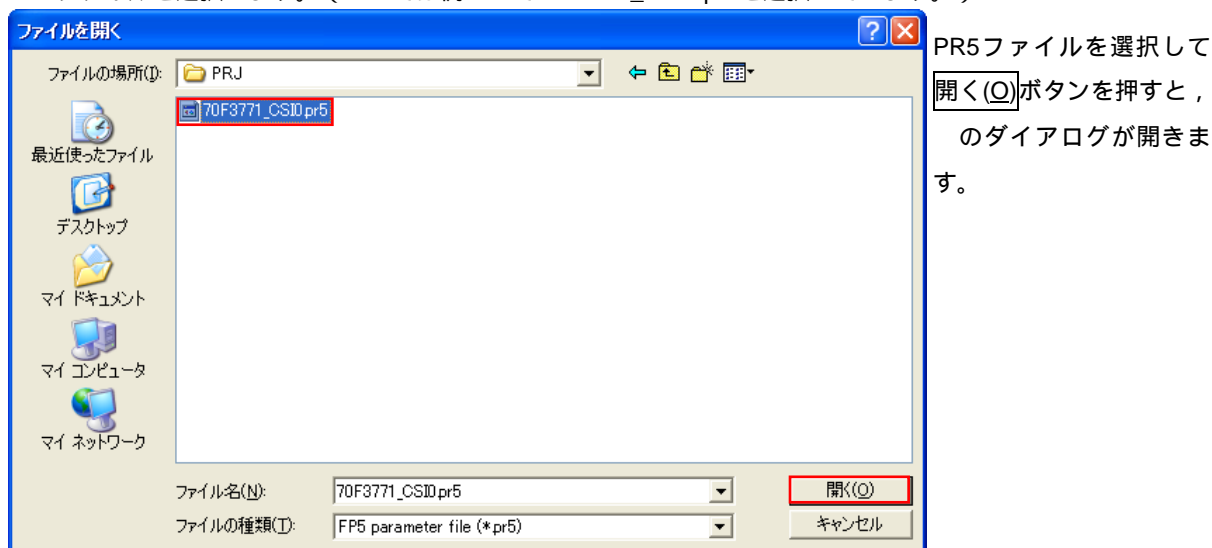
HCU.exeを実行します。HCUが起動すると、以下のダイアログが開きます。



PR5ファイルを選択するダイアログを開きます。

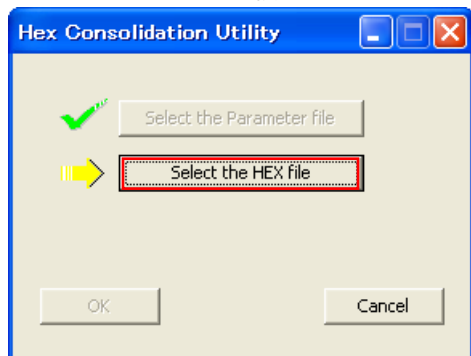


PR5ファイルを選択します。（ここでは例として70F3771_CSI0.pr5を選択しています。）



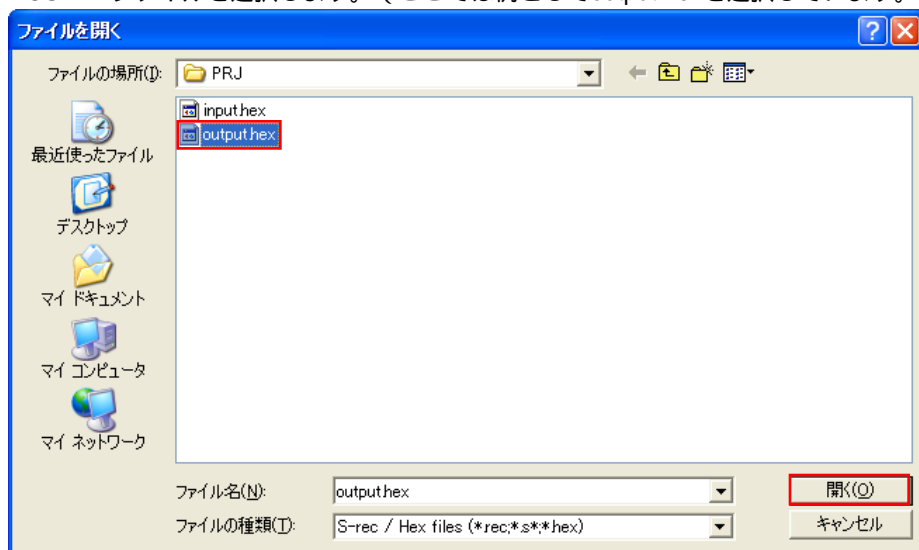
備考 70F3771_CSI0.pr5と70F3771_CSI3.pr5のように1マイコンに複数のPR5ファイルがある場合、どちらも選択可能です。

HCUHEXファイルを選択するダイアログを開きます。



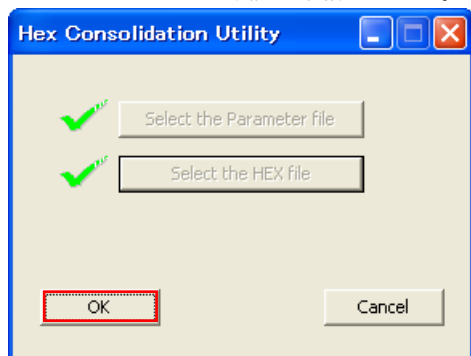
Select the HEX file ボタンを押すと、 のダイアログが開きます。

HCUHEXファイルを選択します。(ここでは例としてoutput.hexを選択しています。)



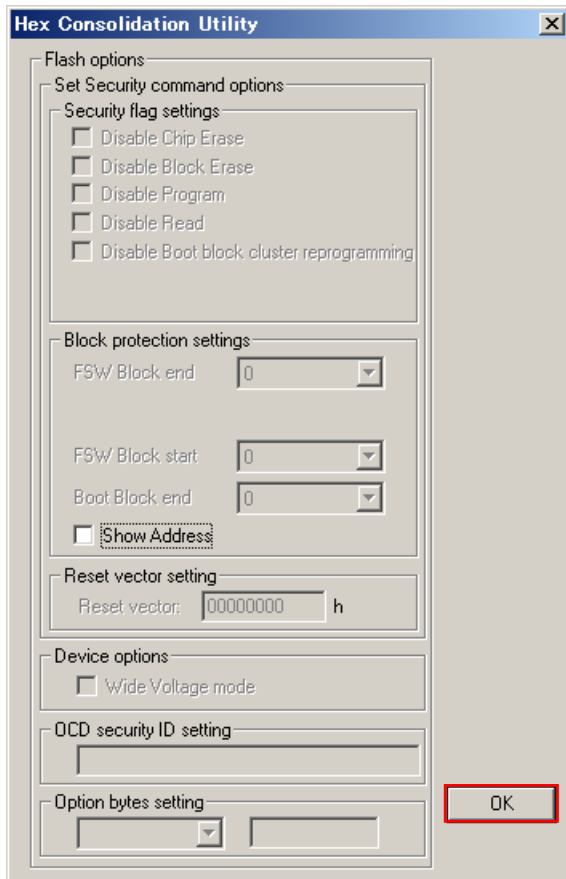
HCUHEXファイルを選択して開く(O) ボタンを押すと、 のダイアログが開きます。

オプション・データ確認の準備をします。



OK ボタンを押すと、 のダイアログが開きます。

オプション・データを確認します。



[Security command options]エリアでは、セキュリティ設定（チップ消去禁止、ブロック消去禁止、書き込み禁止、読み出し禁止、ブート領域の書き換え禁止）、書き換え保護設定（フラッシュ・シールド・ウィンドウ機能のブロック設定、ブート領域終了ブロック設定）、リセット・ベクタ・ハンドリング機能設定を確認できます。

[Device options]エリアでは、ワイド・ボルテージ・モードの設定を確認できます。

[OCD security ID setting]エリアでは、オンチップ・デバッグ・セキュリティIDの設定を確認できます。

[Option bytes setting]エリアでは、オプション・バイトの設定を確認できます。

なお、各設定項目はグレー表示しています。設定変更できません。

機能詳細は、各マイコンのユーザーズ・マニュアルやPG-FP5 フラッシュ・メモリ・プログラマ ユーザーズ・マニュアル（R02UT0008J）を参照してください。

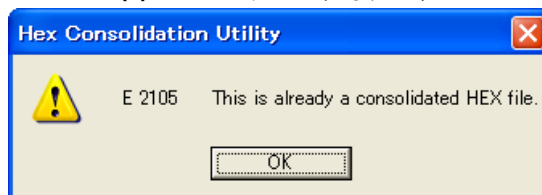
備考 オプション・バイトやオンチップ・デバッグ・セキュリティIDがフラッシュ・メモリの特定アドレスに配置されているマイコンの場合、[OCD security ID setting]エリアや[Option bytes setting]エリアに設定する必要が無いため、グレー表示します。

付録A メッセージ

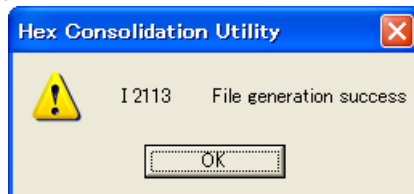
A. 1 メッセージ表示形式

メッセージはエラー・ダイアログ、インフォメーション・ダイアログに表示されます。

図A - 1 エラー・ダイアログ



図A - 2 インフォメーション・ダイアログ



A.2 エラー・ダイアログ

No.	メッセージ	詳細
E 2102	Read parameter file failed.	PR5ファイルのフォーマットが不正なため、読めません。正しいPR5ファイルを入手してください。
E 2104	Open HEX file failed.	HEXファイルが開けません。HEXファイルがアクセス可能か確認してください。
E 2105	This is already a consolidated HEX file.	これはHCUHEXファイルです。HEXファイルを選択してください。
E 2106	This is not a consolidated HEX file.	これはHCUHEXファイルではありません。HCUHEXファイルを選択してください。
E 2107	Option data is not correct!	オプション・データが不正です。正しいHCUHEXファイルを入手してください。
E 2108	Read HEX file failed.	HEXファイルのフォーマットが不正なため、開けません。正しいHEXファイルを入手してください。
E 2110	Read Setting file failed.	ESFファイルのフォーマットが不正なため、読めません。正しいESFファイルを入手してください。
E 2111	Setting file is not match parameter file.	ESFファイルに設定されているPR5ファイルと選択したPR5ファイルが一致しません。ESFファイルとPR5ファイルの組み合わせが正しいか確認してください。
E 2112	Open output file failed.	HCUHEXファイルが開けません。HCUHEXファイルがアクセス可能か確認してください。
E 2118	Out of range! It is possible that the option data does not match the parameter file.	オプション・データの入力値が設定可能な範囲を超えています。正しい値を入力してください。
E 2220	OCD_ID input wrong!	オンチップ・デバッグ・セキュリティID の入力値が不正です。正しい値を入力してください。
E 2221	Option byte input wrong!	オプション・バイトの入力値が不正です。正しい値を入力してください。
E 2503	HEX file address out of range against target device.	HEXファイルのアドレス範囲がマイコンのフラッシュ・メモリの範囲を超えています。正しいHEXファイルを入手してください。

A.3 インフォメーション・ダイアログ

No.	メッセージ	詳細
I 2113	File generation success	HCUHEXファイルが生成されました。
I 2119	Do you want merge the HEX file and the Option data? Please enter a new HEX file name.	HEXファイルとオプション・データを統合します。続ける場合 <input type="button" value="OK"/> ボタン, 戻りたい場合 <input type="button" value="キャンセル"/> ボタンを押してください。
I 2401	Caution: When 'Chip Erase' is disabled, chip cannot be erased and programmed any more!	注意: Chip Eraseを禁止にすると, ターゲット・デバイスは消去および書き換えできません。続ける場合 <input type="button" value="OK"/> ボタン, 戻りたい場合 <input type="button" value="キャンセル"/> ボタンを押してください。
I 2402	Caution: When 'Boot block cluster reprogramming' is disabled, chip cannot be erased and programmed any more!	注意: ブート領域の書き換えを禁止にするとターゲット・デバイスは消去および書き換えできません。続ける場合 <input type="button" value="OK"/> ボタン, 戻りたい場合 <input type="button" value="キャンセル"/> ボタンを押してください。
I 2403	Caution: When 'Block Erase' is disabled, chip cannot be erased and programmed any more!	注意: Block Eraseを禁止にすると, ターゲット・デバイスは消去および書き換えできません。続ける場合 <input type="button" value="OK"/> ボタン, 戻りたい場合 <input type="button" value="キャンセル"/> ボタンを押してください。
I 2419	Caution: Boot Block swapping will not be possible with this selection. Anyhow, boot block protection is possible.	注意: 選択したブロック番号がPR5ファイルに定義された全ブロック番号の半分より大きいため, ブート・スワップできません。ブート領域書き換え禁止は有効にできます。続ける場合 <input type="button" value="OK"/> ボタン, 戻りたい場合 <input type="button" value="キャンセル"/> ボタンを押してください。

HEX Consolidation Utility ユーザーズマニュアル

発行年月日 2011年11月25日 Rev.1.00

発行 ルネサス エレクトロニクス株式会社
〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753



ルネサスエレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所・電話番号は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス販売株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2 (日本ビル)

(03)5201-5307

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。

総合お問合せ窓口 : <http://japan.renesas.com/inquiry>

HEX Consolidation Utility